

SICF12 グランプリ 福士朋子に決定

<http://www.sicf.jp/>



SICF12 出品作品 福士 朋子「inside / outside」

スパイラルが主催するアートフェスティバル「SICF12」(SICF:スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)のグランプリ受賞者は、福士朋子(ふくしともこ)に決定いたしました。福士の作品は、マンガとペインティングの融合を試みた新しい表現と、パーソナルで些細な声を掬いあげて視覚化した視点の面白さが高く評価されました。

マンガとペインティングの融合を試みた新しい表現、 声にならない「つぶやき」を掬い上げた視点の面白さ。

福士は SICF12 で、「inside / outside」をテーマにした 12 点の連作からなるインスタレーションを発表しました。

ペインティングとマンガの融合の可能性を模索し続けてきた福士は、SICF12 で、「コマ割り」「内語(口には出さずに考えている言葉)」などのマンガの構造や文法を用いて、複数の視点や意識、空間や時間を 1 枚のペインティングの中に合わせるという新しい表現を試みています。

本シリーズでは、主体的な視点の変化することによって空間の意味づけが逆転することを示した『内は外』、エスカレーターを上下の視点から描くことで同一のものでも全く違う見え方を提示した『上ル』『下ル』など、作家のごパーソナルな気づきやエピソードをホワイトボード上に描いています。私たちが日々を過ごす中で浮かんで消え、どこに向かうでもなく無意識の底に沈んでいく「声にならな

い」声やアイデアたち。ツイッターのつぶやきにも似たどこか「今っぽい」軽やかさとさりげなさを孕んだ福士の内なる声は、しかし、「内語」や「コマ割り」の手法、短いテキスト、油性マジックで描かれたマンガのシンプルなラインを効果的に用いて、通常はメッセージを伝えるツールであるホワイトボード上に強調され、強いインパクトを持って視覚化されます。それはまた、メッセージとの鮮やかな対比となって観るものを惹きつけます。

SICF12 では、マンガとペインティングを融合した、これまでに無い、自身の表現を追求しようとする姿勢と、パーソナルで些細な声を掬いあげて視覚化した視点の面白さが高く評価されました。

尚、福士は今年 10 月にスパイラルで個展を開催する予定です。ぜひご取材をご検討下さいますようお願い致します。

ご取材、ご掲載のお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 担当 加藤美穂、四元朝子(よつもとともこ)、清水さえみ
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp WEB www.spiral.co.jp

spiral

【福士朋子 SICF12 出品作品】



左:『下ル』『上ル』(2010 年) 各 900×600 mm / ホワイトボード、油性マジック

中:『inside/outside』(2010 年) 900×1200mm / ホワイトボード、マグネットシート、マグネット、鍵、マグネットダーツ矢

右:『内は外』(2010 年) 1200×900 mm / ホワイトボード、油性マジック

【福士朋子のコメント】

今回の展示では、「inside/outside」をテーマにしました。私の身近なところ、社会的なことで気になっている内／外の区分を題材に、日常ではメッセージを伝えるための道具であるホワイトボードを使って視覚化を行いました。これまでは、コマ割りによる空間や主体の変化といったマンガの構造や文法をペインティングに取り入れ融合させる試みを続けてきました。また、マンガの特徴の一つである「内語」という、「声には出さずに考えている言葉」の表現方法を模索してきました。

ある事柄を二項対立の型にはめこむことで発生する価値的な上下関係や抑圧構造が気になっています。その一対は本当に相反するのか、なぜ反対語、対照語となっているのかの疑問から制作を始めています。今後は少しでも社会や美術史の既成の価値やルールへの問いかけとなるような作品を作っていきたいと思っています。

【プロフィール】

青森県生まれ。

1990 年 女子美術大学芸術学部絵画科洋画専攻(油絵)卒業
 1992 年 東京芸術大学大学院美術研究科
 修士課程絵画専攻油画修了
 2000 年 ペンシルヴァニア・アカデミー・オブ・ザ・ファインアーツ大学院
 修士課程修了(文化庁芸術家在外研修)
 2005 年 東京芸術大学大学院美術研究科
 博士後期課程美術専攻油画修了
 現在 女子美術大学准教授

□主な個展

1997 年 ギャラリー山口(東京)
 1998 年 INAX ギャラリー(東京)
 2005 年 藍画廊(東京)、art& river bank(東京)
 2004,07 年 ギャラリーアートもりもと(東京)

□主なグループ展

1999 年 「VOCA 展 '99」(東京)
 2003 年 「DOMANI・明日展 2003」(東京)

【福士朋子 過去作品】



『反転旅行』(2006 年)、180×180 mm
 キャンバス、アクリル絵の具



『消費速度』(2009 年)、180×360mm
 キャンバス、油性マジック

【SICF12 受賞者一覧】

グランプリ	福士朋子
準グランプリ	稲垣弥寿子
準グランプリ	heterophonicDada + 濱大二郎
オーディエンス賞	アナグマ
オーディエンス賞	佐々木智也
浅井隆賞	稲垣侑子
佐藤尊彦賞	鳥居千夏
紫牟田伸子賞	クラーク志織
南條史生賞	加藤立
南條史生賞	林田健
スパイラル奨励賞	大西景太



【SICF12 審査員】

浅井隆	有限会社アップリンク社長 / webDICE 編集長
佐藤尊彦	ビームス販売促進本部プレス
紫牟田伸子	デザインプロデューサー、ジャーナリスト
南條史生	森美術館館長
岡田勉	スパイラル チーフキュレーター

【SICF とは】

12 回目を迎える SICF(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)は、東京・青山にある複合文化施設、スパイラルが企画運営する公募展形式のアートフェスティバルです。さまざまなジャンルのクリエイター100 組を選出し、スパイラルホールを舞台に、次代を担う新しい才能を紹介します。来場者の投票によって決まるオーディエンス賞をはじめ、毎年、各審査員賞、準グランプリ、グランプリが授与され、これまで数多くのクリエイターが活動の舞台を広げて活躍しています。

【過去のグランプリ受賞者】

SICF11 グランプリ (2010 年)	青木美歌
SICF10 グランプリ (2009 年)	酒井翠
SICF9 グランプリ (2008 年)	藤井秀全
SICF8 グランプリ (2007 年)	佐藤誠高
SICF7 グランプリ (2006 年)	松田直樹
SICF6 グランプリ (2005 年)	塩保朋子
SICF5 グランプリ (2004 年)	atiek+D
SICF4 グランプリ (2003 年)	サクラヤスユキ
SICF3 グランプリ (2002 年)	川瀬浩介
SICF2 グランプリ (2001 年)	月岡 彩
SICF1 グランプリ (2000 年)	中原英隆